

平成 26 年度長崎大学がんプロ養成基盤推進プラン離島・僻地実習

実習生：小河原 大樹

実習先：長崎県中対馬病院

実習期間：平成 26 年 8 月 4 日（月）～ 平成 26 年 8 月 27 日（水）

実習生感想：

がんプロ離島・僻地病院実習を終えて

がんプロ離島・僻地病院実習のため、中対馬病院で約 1 か月間診療に従事させていただきました。

中対馬病院は対馬の中央やや南に位置し、139 床を有する中規模病院で、対馬中北部の診療を担っている病院です。私自身、以前にも五島市の五島中央病院で 2 年間診療に従事していたこともあり、離島診療の予想をしつつ実習に臨んだつもりでしたが、僻地医療の実態に驚きや発見の日々でした。

実習中は毎日、新患外来を担当させていただきました。新患外来患者は平均 10 人/日程度でほとんどが軽症なのですが、自然豊かな島ということもあり、ハチ・ダニ刺傷やムカデ咬傷の患者さんも多かったです。また、高齢患者さんが多く、尿路感染症や誤嚥性肺炎の方も多く見受けられました。夜間当直も担当させていただきましたが、重症症例もしばしば搬入され、救急病院としての役割についても学びました。院内設備として CT や MRI を有し、時間外検査についてもオンコール体制がしっかり敷かれています。離島や僻地で問題になっている医療従事者の人手不足は否めず、常勤医師はほぼ毎日外来もしくは救急担当となっており、その負担は非常に大きいものであると感じました。また、今回、入院症例の担当もさせていただきましたが、心原性脳塞栓症や出血性胃潰瘍、膵癌、肺炎、間質性肺炎など自分の専門領域から非専門領域まで幅広い症例を経験させていただきました。循環器内科や消化器内科の先生方にご相談しながら診療に当たりましたが、非常に丁寧に対応していただきました。約 1 か月間という短い期間ではありましたが、僻地・離島医療圏の診療だけでなく、現場医療の問題点やそこで努力している医療従事者の現状を垣間見ることができました。

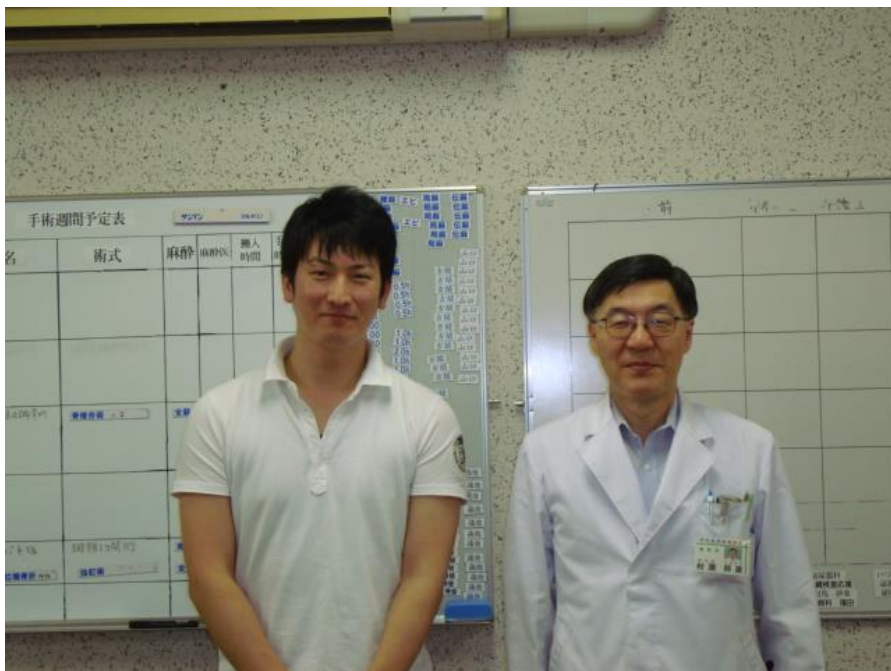
私に対馬を訪れた 8 月は台風や大雨の影響であまり天気がよくない日が多く、対馬の美しい風景や豊かな自然に触れる機会が少なかったため、改めて訪れたいと思いました。

中対馬病院の先生方、看護師さん、スタッフの方々、本当にありがとうございました。

【長崎県中対馬病院 外観】



【村瀬病院長と】





【実習後オリエンテーションにて】

